

科目名	コミュニケーション特講 I		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	北川 勝利、笹原 寿峰			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] コミュニケーションについて理論的な枠組みを理解し、教室でのスピーチ、ディスカッションなどの実践学習で伝達表現能力を養い、社会に必要なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>[授業概要] 人が日常を始め 社会の中で経験する様々なテーマを取り上げ、重要な点を整理・考察する。授業の中では、円滑なコミュニケーションを図る手段、多様化するコミュニケーションの現状を解説したうえで、問題点などを考察する。スピーチ、グループディスカッションなどのコミュニケーション実習を始め 実践型の体験演習することで、就活等にも役立つ、コミュニケーション表現能力を養う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて4時間程度。 日常会話に興味を持ち、どうすれば自己の考え方が人に伝わるかを考察し、家族や友人と会話する際にコミュニケーションを意識して会話するなどの実践を試みる。社会のニュースや、自分の周辺の出来事に興味をもち、分析や整理しておく。</p> <p>[授業計画] 1. 導入:コミュニケーションについて(笹原) 2. コミュニケーション表現の基礎について(北川) 3. 円滑なコミュニケーション①自己紹介とは(北川) 4. 円滑なコミュニケーション②他者紹介とは(笹原) 5. CMなどにおけるコミュニケーション表現について(北川) 6. 社会におけるコミュニケーション表現について(北川) 7. コミュニケーション表現力を高める(笹原) 8. コミュニケーション・マネジメントについて(笹原) 9. 日本語の特性と非言語(ノンバーバル)の重要性(北川) 10. 業務コミュニケーション(北川) 11. 実社会でコミュニケーション表現を活かすテクニック(笹原) 12. 自己伝達演習(笹原) 13. 実演・面談(北川)</p>				

科目名	コミュニケーション特講 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	北川 勝利、笹原 寿峰		
<p>[成績評価方法] 授業中の体験演習 発表(50%)、レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 講評及びレポートに記載</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文1-3/日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。 成績評価方法: 毎回のレポートと発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-1/自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。 成績評価方法: 毎回のレポートと発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 日文3-3/他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。 成績評価方法: レポート、発表、ディスカッション</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: レポートと発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポートと発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			